



(一社) 山梨県造園建設業協会

2020
vol. 33

豊かな緑で山梨の未来を創る！

ぞうえん山梨

L A N D S C A P E Y A M A N A S H I



第36回全国都市緑化信州フェア 庭園出展コンテスト
信州の庭部門 銀賞「まちなかのパノラマ信州」

C O N T E N T S

● 会長あいさつ	P02	● 造園協同組合の事業	P08
● オルビスの森	P03	● 青年部の活動報告	P10
● 全国都市緑化信州フェア	P04	● 地域リーダーズ勉強会	P11
● Mirai プロジェクト活動	P06	● 表彰	P11
● 視察研修会	P06	● 会員名簿	P12
● 協会の諸活動	P07		

表紙作品解説

山水を五感で親しむまちなかの憩いのスポットとして、天竜川をせせらぎで、赤石・木曽山脈を芝生のマウンティングで見立て、要所に自生の木々や水辺の草花を配し、信州を体感できる小空間を演出しました。

E-mail: info@zo-en.or.jp URL: https://zo-en.or.jp/



Facebookで「いいね！」してね
山梨県 造園協会 検索



LANDSCAPE
YAMANASHI

01

会長あいさつ



一般社団法人 山梨県造園建設業協会

会長 依田 忠

協会の活動について

平素より(一社)山梨県造園建設業協会の活動に格段のご支援ご協力を賜り衷心より御礼申し上げます。

昨年5月の定時社員総会において会長に就任して以来、役員と一丸となり造園技術の向上と協会の健全な発展に努めて参りました。

昨年は、台風15・19号により東日本を中心に広範囲にわたり強風や豪雨災害が発生し、被害に遭われました多くの方々にお悔やみ申し上げますとともに、早期に復旧されますことをお祈り申し上げます。

さて、当協会も一般社団法人に移行して7年目を迎え、造園建設業の活動領域の更なる拡大に取り組むとともに、2027年に予定されるリニア中央新幹線の開業など、新たな時代に備えた社会的使命を果たしていくこととしています。

そうした中、急速な高齢化や若者離れが進む造園建設業において、中長期的な担い手確保が喫緊の課題であります。造園建設業界が健全な発展を図るため、一致団結して人材育成事業や社会貢献事業に取り組んでいく必要があります。

昨年4月から6月にかけ長野県松本市において、都市緑化意識の高揚や緑化知識の普及等を目的とした「全国都市緑化フェア」が開催されました。当協会から、若手技術者の造園技術の向上や知識の習得を目指して庭園コンテストに出展し、各社から若手技術者が作品の制作に参加し銀賞を受賞することができました。

その他、県内の高校生を対象に造園技術を実際に体験する出前講座を実施し、造園業の魅力を知ってもらう活動や「第5回建設まつり」に参加し、来場した親子・高校生などに協会活動や造園業を身近に感じてもらう取り組みを行いました。

社会貢献事業では、平成30年度から山梨大学「未来計画研究社」が主催する、県内8大学の学生と協働してプロジェクトに取り組む活動に参加しており、「山梨県における都市の緑の評価と提案」と題して、街路樹の維持管理を通して良好な景観(魅力的な景観)となるよう、街路樹を工夫する方策を検討し、行政機関への提案を行っています。

また、人々が集い自然と親しむ里山づくりを目指した「きづかいの森」事業につきましては、平成28年度から公益財団法人オイスカと協働して山梨市水口地内で「ライオンの森」事業及び甲州市塩山上小田原地内で「オルビスの森」事業に携わり、造園技術を活かした技術協力や支援を行っています。

今後も地域に根ざした産業として立ち位置を明確にし、万一災害が発生した場合、山梨県との防災協定に基づき地域の守り手として円滑な救助活動や復旧活動に協力していくとともに、造園建設業の発展や社会的使命を果たしていきたいと考えています。

LANDSCAPE
YAMANASHI

02

2019年度 第7回定時社員総会

令和元年5月22日造園建設会館において、第7回定時社員総会が開催され、造園事業功労者表彰では、(株)石原グリーン建設・荻野葵、山村和也、(株)富士グリーンテック・千田仁志の3氏が表彰されました。また、来賓として出席した森屋宏参議院議員及び県土整備部都市計画課松沢一賀まちづくり推進企画監からご祝辞を頂いた後議事に移り、平成30年度決算について承認され、続いて平成30年度事業報告、2019年度事業計画及び収支予算について了承されました。



▲ 2019年度定時社員総会

森林再生 里山づくりに活きる造園力 ～オルビスの森2019～



▲ 活動参加者の集合写真

2011年、甲州市・オルビス(株)・(公財)オイスカの3者が甲州市里山創造推進協議会を設立し、「森林整備協定」を締結しました。2012年から甲州市上小田原地内の公益的機能を果たせなくなっていた市有林約100haの森の再生を目的に「甲州市・オルビスの森」の森林整備が開始されました。

当初は間伐をメインに活動を行っていましたが、2016年より造園協会も参画し、この森を広葉樹林として再整備し、「荒廃した里山を森づくりだけでなく人々が集い自然と親しむ里山」として整備する計画を立てました。

2016年度は「サクラの森」エリアにヤマザクラ等の大苗100本を、2017年度は高芝川の対岸に同じくヤマザクラ等の大苗80本を植林しました。造園業者の行う植林の特色として、ある程度成長した苗を使用し、水極めという手法を行うことにより、枯れない植林を行っています。

2018年から4年計画で本格的な里山整備事業がスタートしました。この事業では、「森を壊すような整備は行わない」、「間伐によって発生した木材は必ず使用すること」を大切に考えています。遊歩道1,000mを、全体を間伐するのではなく、山の景観を壊さないように必要と思われる樹木を残しながら整備しました。

2019年度は高芝川沿いに転落防止用木柵102m・木柵手すり10m・ロープ柵35mを設置、園路を80m改修、階段を20m補修しました。

11月30日にはボランティア体験活動としてオルビス社員30名、甲州市5名、オイスカ3名、森林協会1名、造園協会から指導員として9名が参加し、園路の拡幅、丸太階段設置の作業を行い、より快適で安全に遊歩道を歩けるよう整備しました。

今後の2年間では、この森で発生した間伐材を使用した土留め柵の設置や野外ステージ、展望デッキの設置を計画しています。

私たちは、将来オルビスの森で、森林セラピー、森のコンサート、森林環境教育等のイベントが行われ、四季を通じてたくさんの人々が集う里山になることを期待しています。



▲ ボランティア活動風景(丸太階段設置)



▲ ボランティア風景(園路拡幅)



▲ 高芝川転落防止用木柵設置

— 庭園コンテスト出展を回想して —



▲ 信州フェア視察研修会

全国都市緑化フェアとは、国民ひとり一人が緑の大切さを認識するとともに、緑を守り、愉しめる知識を深め、緑がもたらす快適で豊かな暮らしがある街づくりを進めるための普及啓発事業として、1983年から全国各地で毎年開催される花と緑の祭典です。

2019年度は、第36回全国都市緑化信州フェアが、4月25日～6月16日までの53日間、長野県松本平広域公園をメイン会場とし、「北アルプスの麓から広がる 花と緑に包まれた しあわせ暮らし」をテーマとして開催されました。

隣県での開催であること、また今後期待される山梨県での全国都市緑化フェア開催に向けて準備につながるような参加ができないだろうかということから、(一社)山梨県造園建設業協会・同協同組合、(一社)日本造園建設業協会山梨県支部の計3団体合同で庭園コンテスト「信州の庭」へ出展参加をしました。

2月26日の庭園出展コンテスト施工説明会では、多くの庭園出展数に驚かされると同時に、全国での緑化普及啓発活動がより盛んになってきていることを痛感しました。

「信州の庭」部門のテーマは、伝統的な庭園や信州の原風景を表現することにあります。普段から観光や仕事で足を運ぶ機会の多い長野県の信州らしさを考えたとき、それは、山梨県にも似た自然の豊富さにありました。設計段階において、これを決められたスペースの中にいかに表現していくかを考え、最終的に山と川と湖を表現し、山水を五感で親しむ憩いのスポットというコンセプトで「まちなかのパノラマ信州」をテーマとし、天竜川をせせらぎで、赤石・木曽山脈を芝生のマウンティングで見立て、要所に自生の木々や水辺の草花を配する設計図が完成しました。

協会活動の一環として、若手従業員を対象に造園技術の伝承を目的とした技能講習会を開催しています。今回のコンテスト作品の施工にあたっても、若手従業員の造園技術の習得の場となるようにと考えました。

現場の施工期間は3月～4月の間のうちの2週間でした。

第1期工程は、庭の基となる、天竜川をせせらぎに見立てた水の流れの作庭です。

まず地割作業を行い掘削作業に移ります。この時点で庭の表現したい自然美の骨格が決定するため綿密に調整を繰り返しながら掘り進めました。川底部分にクッション材となる砂を仕込みその上に防水シートを敷き詰めます。当日は、雪が舞い散る様などとても寒い一日でした。外気温が上昇せずシートを接着するのに予定外の時間を要し、初日より工程に遅れが生じましたが、

場所決め



溝口づくり



流れの作成



植栽



4月作品完成



防水工事なので焦らず確実な作業を行いました。続いて景石の据え付け作業です。担当作業員は、景石の表情を確認する石の見方、適材を選出しこれを据え付ける技術を熟練作業員から学びました。

五感で感じる庭には水の音が欠かせません。延長8mの流れの中でいかに自然な音を演出できるか、造園技術の見せどころです。完成後に水を流した時にどういう風に水が動くのかを想定し、一石ずつ組み合わせていきました。次は、流れの中



▲ 当協会入選作品



▲ 会場風景

開催期間中に行われた庭園コンテストでは、見事「銀賞」に入選し、造園技術の習得を兼ねて作庭に携わった作業員一同と喜びを分かち合いました。

今回の全ての出展庭園から造園技術の表現の豊富さや高度な技術を改めて認識し、これからも心地よい生活空間を創造できる業界であり続ける必要性を感じました。近い将来の全国都市緑化フェア山梨県開催を切に願いながら参加させていただき大変有意義な出展となりました。

入る小石の敷き詰め作業です。ここでは人工的に並べた石詰ではなく、いかに自然界にある流れの中の石詰を表現できるかがポイントとなります。担当作業員は、普段から山や川に入り、自然という教本を基にそれを技術に替えることの重要性を学びました。最後に、流れに水を注水し、流れる水の量と音の調整に移ります。動力ポンプにより水を循環させ流れを調整しました。360°どこから見ても五感に響く庭が目的でしたので、水の流れが奏でる音や、水の流れる表情を確認し完了です。

第2期工程は植栽作業です。通常の植栽作業では真直ぐ樹木を置きますが、今回は山に自生する樹木の姿を表現するため、景石と融合させながら斜めに樹木を倒して植栽し景観を演出すること、また、高木の下にはどのように低木や地被類が自生しているかを考えて、信州の山に自生する樹木を微調整しながら植え込みました。やはり樹木が入ると庭全体の雰囲気も良好で、締まった景観を表現することができ、当初のテーマに基づいた庭園が完成しました。



▲ 流れ



▲ 金賞「SONO～園～」



▲ 銀賞「令和の滝」



▲ 銅賞「峰々に捧ぐ」
日本造園組合連合会山梨県支部青年部

LANDSCAPE
YAMANASHI

05

Mirai プロジェクト活動



▲ 昭和通り風景



▲ 学生との視察

Miraiプロジェクトとは、地元企業・団体のニーズや課題に対して、大学生と協働で取り組む活動で、若者の人材育成も兼ねて去年に引き続き参加しています。今年度も山梨大学生とともに市街地の街路樹の維持育成状況を調査、評価をし、学生の新しい視点からの意見も取り入れ、2月の成果発表会には街路樹を活用した良好な道路景観を提案します。このプロジェクトを通して、多くの人々が山梨県に住みたいと思うような街づくりを目指していきます。

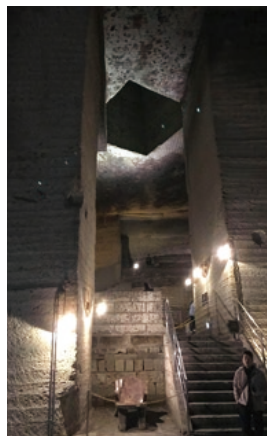
LANDSCAPE
YAMANASHI

06

視察研修会



▲ 宇都宮市・大谷資料館



▲ 大谷資料館



▲ 日本橋三越本店・屋上庭園



▲ 迎賓館庭園



▲ 大宮盆栽美術館

令和元年11月16～17日、栃木県・埼玉県・東京都において視察研修会を開催しました。1日目は、宇都宮市の大谷資料館で作庭時によく使用される大谷石の採掘場跡を見学、さいたま市の大宮盆栽美術館にて名高い名品の数々を鑑賞しました。2日目は、日本橋三越本店の屋上庭園を見学したのち、月島・晴海などの都市景観を隅田川に沿って船上から視察、最後に迎賓館赤坂離宮を訪れました。また、車窓から沿道の街路樹や植栽も興味深く観察し、今後の山梨県における緑豊かな街づくりに向けて有意義な視察研修となりました。(造園CPD認定プログラム)



株式会社 アセラ

自然と化学の調和を求め、
技術アドバイスで農業をリードする。

〒400-0826 山梨県甲府市西高橋町156番地
TEL 055-235-1968 FAX 055-232-2033

Shirasaki
Corporation

防草シートを使った緑化や頑固な雑草に
お悩みの方は1度ご相談下さい！

自然と人間（みんな）が一緒に幸せになる仕事

株式会社 白崎コーポレーション

〒916-0076
福井県鯖江市石生谷町 11-23
TEL.0778-42-8353 FAX.0778-42-8515

◆街路樹剪定士資格更新研修会

2月1日、造園会館にて同研修会を催し、52名が受講。「街路樹剪定士」とは、樹木の生理・生態や街路樹に関する専門知識と技能を併せ持った専門家であり、その技術力と資格の位置づけを高めるため、5年毎に資格の更新が必要とされています。

◆日本芝草学会

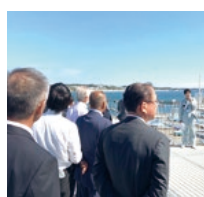
6月14～16日、山梨大学にて2019春季大会開催。うち15日の校庭芝生化部会に依田会長、仲村理事、山下事務局長が出席し「当協会の校庭芝生化の取り組み」と題して、活動状況を報告しました。



▲ 日本芝草学会

◆関東甲信造園建設業協会協議会

10月9～10日神奈川県平塚市にて同協議会が開催され、役員6名が参加。視察は江の島セーリング会場や旧吉田茂邸を見学、協議会では「技能の向上と継承の取組」「維持管理(委託費)の工事完工高への移行」について、グループで議論を交わしました。



▲ 関東甲信造園建設業協会協議会

◆河川清掃

毎年7月の「川に親しみ水辺にふれあう運動」推進強調月間に合わせて県内各地で開催された河川清掃に参加。7/2桂川クリーン作戦10名、7/5荒川河川清掃16名、戸川河川清掃12名、7/12浅川河川清掃8名、7/24釜無川河川清掃12名が参加し、河川・環境美化活動を行いました。



◀ 河川清掃 (荒川)

◆山梨県造園安全協議会安全大会

7月30日32社59名が参加。各支部の安全管理功労者の表彰や安全パトロールの結果報告、東京海上日動火災保険山梨支店両国課長による緊急時事業継続計画(BCP)を学ぶ講演会が行われました。



◀ 安全大会

◆建設まつり

10月14日、アイメッセにて第5回建設まつりに参加。日頃の活動を紹介したポスターや軽トラガーデンの展示、関守石風文鎮づくり体験を行い、造園業の広報に努めました。



◀ 文鎮づくり



竹材・木材・石材販売
笠井造園資材 有限会社

〒409-3866
山梨県中巨摩郡昭和町西条2461-5
TEL:055-275-2842 FAX:055-275-5554

総合造園緑化資材、石材砂利、越後の刃物、卸販売

有限会社造園資材センター

〒400-0054 甲府市西下条町1346-1
TEL:055-220-2553 FAX:055-220-2554

山梨県造園建設業協同組合では、現在33社が加盟し、造園に関する様々な業務を行っております。現在は、指定管理者として武田の杜保健休養林の管理運営、「緑の普及啓発事業」として緑の相談所の業務委託を実施しています。また、専門的な知識、技術の継承のための講習会等も行っています。

令和元年度武田の杜保健休養林事業

平成26年度より、武田の杜保健休養林の管理運営を行っており、四季を通じて自然に親しむ様々な事業を展開し、県内外から年間約10万人の皆様にご利用いただいております。

また、令和元年6月、武田の杜保健休養林を含む秩父多摩甲斐国立公園地域が甲武信ユネスコエコパークとして登録されるなど、自然に親しみ共生していく取り組みへの期待がますます高まっております。

当組合としても、より一層、実施事業の充実や適正な管理運営に努め、多くの皆様に愛されご利用いただける施設にしていきたいと思います。

◆武田の杜森林セラピー

武田の杜では、平成25年に森林セラピー基地に認定された良好な自然環境のもと、武田の杜森林セラピーガイドによる質の高い保養プログラムを提供し、年間で約250人の方が体験しており、本年度は、森林セラピーツアーを23回実施しました。5月には、ミス日本みどりの女神の藤本麗華さん、野中葵さんが体験し、後日、東京都立日比谷公園で開催された「みどりとふれあうフェスティバル」の森林セラピーのトークショーで体験談を披露し、武田の杜のPRをしていただきました。8月には本郷浩二林野庁長官が体験され、翌日、甲府市で開催された「第4回「山の日」記念全国大会」の記念式典のご挨拶の中で、武田の杜の森林セラピーの体験についてお話しいただきました。また、本年度は、参加者の利便性を更に高めるため、甲府市のふるさと納税返礼品に登録しました。



▲ 右：藤本麗華さん 左：野中葵さん



▲ 森林セラピーを体験する本郷長官

◆武田の杜さくらまつり

4月6日から2日間、健康の森自由広場を中心に軽音楽やオカリナなどの演奏、森林セラピー体験や工作教室など様々なイベントを、また、期間中は閉館時間を午後9時まで延長し、夜桜と夜景を楽しむ夜桜フェスティバルを開催しました。桜を型抜きしアクセサリをつくる森の工作教室では、たくさんの家族連れの参加があり、親子で工夫しながら作品作りに取り組んでいました。桜の満開の時期と重なり、1,500人を超える来場者がありました。



◆親子でキャンプ

7月6日から1泊2日で、キャンプ場にて8家族26名のご参加のもと開催いたしました。初日は、午後からどんぐりなど森の素材を使った工作を行い、その後の夕食づくりのハンゴウ炊飯やフライドチキンづくりでは、火おこしや火加減に手こずりながらも美味しい夕食が完成し、参加者一同で楽しい夕べの一時を過ごしました。また、夜は、キャンプファイヤー、ナイトサファリを行い、ドラム缶風呂で入浴し就寝しました。2日目は、流しそうめんやスイカ割りを行うなど、親子で夢中になって行事を楽しみ、子供たちの笑顔の絶えない2日間となりました。



◆第11回 武田の杜トレイルランニングレース

12月8日、県内外から710人の参加のもと、第11回大会が開催されました。コースは昨年度と同じく、武田神社から湯村温泉郷までの距離30kmで、参加者は、武田信玄ゆかりの地の歴史を感じながら、また、美しい紅葉、富士山や南アルプスなどの眺めを満喫しながら、トレイルランニングを楽しんでいました。また、レース前日の7日には、トレイルランナーの石川弘樹さんと山本健一さんや招待選手等による楽しいトークショーがあり、大会の機運を盛り上げました。



◆野生鳥獣写真コンクール(鳥獣センター)

野生鳥獣の保護思想の普及啓発を図るために開催され、平成10年度から始まり、本年度で22回目を迎えました。平成30年度は、県内はもとより全国各地から89名、203点と多くの応募があり、その中から、最優秀知事賞を始め各賞が選出されました。



▲ 最優秀知事賞
「ふたつの顔(エジモンガ)」
武山好男

また、応募作品を展示する「野生鳥獣写真コンクール展示会」を、4月から2か月間開催し、多くの来場者がありました。本年度も、令和2年2月末日締め切りの期限で、現在、募集中です。

◆帝京科学大学との協定の締結(鳥獣センター)

7月30日、鳥獣センターの活動を更に発展させるため、野生動物の生態や飼育等を専門とする帝京科学大学と野生鳥獣の保護活動等に関する協定を締結し、連携して、野生鳥獣の保護や普及啓発、調査・研究等に取り組んで行くこととしました。本年度は、協定に基づき、同大学の学生を傷病鳥獣等保護ボランティアとして20日延べ58名、学芸員実習生3名を受け入れ、また、ムササビの野生復帰に向けた研究にも着手しました。



▲ 帯金理事長と帝京科学大学
アニマルサイエンス学科 森学科長

緑の相談所

旧山梨県緑化センターで行われてきた緑化相談や緑に関する研修会等のソフト事業につきまして、平成26年度から新たに当組合が県から「緑の普及啓発事業」の業務を受託し、「緑の相談所」という組織を作り、県内各地での研修会開催など、一般県民を対象に緑の普及啓発事業を行っています。

◆緑の教室

年間34回県内各地の会場において、「春の庭木の手入れ」「樹木の病気と対策」「バラの剪定」「松のみどり摘み」「樹木観察会」等、緑に関する知識や技術の普及を目的とした講座を開催しています。



◆巨樹・名木学習講座

県内の巨樹・名木を小型バスで巡り、現地においてその価値、保全、活用等について学ぶ講座を年間8回開催しています。毎回30分程で定員20名の参加申込に達してしまう人気の講座です。



◆緑サポーター養成研修

緑に関心の高い県民を対象に、地域の緑化の推進及び樹木の診断を行う者を養成するための講座を開催しています。7日間の講座中、6日以上に参加で県から修了証書が授与され、修了者は(一財)日本緑化センターへ「緑サポーター」として登録することができます。本年度も8名が登録しました。



◆特別講座

ガーデンデザイナー吉谷桂子氏の講演会を10月23日、敷島総合文化会館で開催しました。「これからのガーデニングと花の庭」と題し、美しく心癒す草花とそれを育てるガーデニングのあり方について講演があり、県内外から224名の参加がありました。



◆緑化相談事業

緑の相談所樹木医、及び組合所属樹木医等8名が、病虫害・剪定・緑化等、緑に関する相談に対応しています。神社仏閣・公共施設、または公共性が高いと認められる場合に限り、樹木医の出張診断も行っています。毎年1,700件程度の相談に対応しています。



◆小学校・自治体等研修会の実施

小学校教育機関・各種団体からの要請により、研修会を開催しています。今年は甲斐市立竜王小学校で「校庭内樹木の学習会」、県立農林高校で「剪定の基本講習会」等、樹木医が講師となり開催しました。また、各市町村の社会福祉協議会・自治会等からの要請により「花の寄せ植え教室」・「リース作り」・「あじさい教室」などを毎年30回程度開催しています。



武田流門松講習会



令和元年11月14日、武田の杜サービスセンターにおいて、歴史と伝統技術を学ぶ武田流門松講習会を行いました。本年度発足した山梨県造園名工会に講師を依頼し、作成した門松は12月下旬より山梨県庁に2対(本館正面玄関前及び県議会議事堂前)展示しました。

表彰

技能者表彰(やまなしの名工)

令和元年11月29日、県立中小企業人材開発センターにおいて、令和元年度山梨県技能者表彰の表彰式が行われました。卓越した技能者(やまなしの名工)として(株)帯金造園 帯金岩夫氏が表彰されました。



山梨県中小企業団体中央会

令和元年6月5日、アピオ甲府にて開催された山梨県中小企業団体中央会第64回通常総会において、平成31年度組織功労者、青年部功労者、優良専従職員の表彰式が行われました。山梨県中小企業団体中央会会長より、組織功労者として当組合監事・志村好啓氏、青年部功労者として(株)富士グリーンテック古屋和弘氏、優良専従職員として当組合緑の相談所所長・一瀬昌夫氏が表彰されました。

感謝状

令和元年5月18日、北杜市立明野中学校にて開催された平成31年度県民緑化まつりにおいて、公益財団法人山梨県緑化推進機構会長より「緑の募金」の趣旨に賛同し、森林の整備や緑化の推進に貢献された旨の感謝状が贈呈されました。

LANDSCAPE
YAMANASHI

09

青年部の活動報告

◆ 特別教育講習会

2月28日、造園会館にて労働技能講習協会立石講師によるフルハーネス型安全带およびロープ高所作業特別教育講習会を開催し、協会員のべ109名が受講しました。

◆ 甲府市緑化まつり

5月19日、甲府市緑化まつりに参加し、花の種の配布、竹トンボ・ミニ盆栽・シュロバッタ制作体験コーナーの開設、軽トラガーデンの展示などを行ないました。

◆ 青年部定例会

6月25日、定例会を開催し、新役員改選・新入部員の紹介や今後の活動方針などを話し合いました。

◆ やまなしクリーンキャンペーン

9月30日、部員23名が参加し、甲府駅南口にて花の種500袋とチラシを駅利用者、周辺住民に配布し、駅前周辺の清掃活動を行ないました。

◆ 山梨県林業まつり～森林フェスティバル～

10月19・20日、部員28名が参加し、小瀬スポーツ公園にて花き・樹木の販売、関守石風文鎮づくり教室を開催し、石積・石張り体験コーナーも開設しました。



▲ やまなしクリーンキャンペーン

▲ フルハーネス型
安全带特別講習会▲ 石張り
体験コーナー

TOPICS

軽トラガーデン

造園業界に欠かせない軽トラックの荷台に小さな庭を造りました。
今年は3基作成しテーマや樹木によって違った表情に仕上げました。

「北歐風ガーデン」カラーリーフ、ラン、班入りアジサイ等
地被植物をグランドカバーに、
湿地帯に日本在来の水苔を植栽し、
低コストで気軽に楽しめる草花ガーデンを作庭。

◀ テーマ「四季の音色」
ツツジ等

テーマ ▶
「Simple is best」
岬灯籠・菊の小鉢
・黒松・モミジ



STIHL®

緑化園芸機材・林業・農業機械・鳥獣害対策機器・刃物
森林アウトドア用品・薪ストーブ・薪ボイラー・除雪機
保冷庫・木材加工機材・保安用品（スパイク付ブーツ等）
高圧洗浄機・法定器具・キノコ菌類・食品乾燥機

地球への愛、人への優しさ。
当社は優れた品質で社会に貢献します。

山梨スチール株式会社

〒400-0047 山梨県甲府市徳行4丁目13-5 <http://www.yamanashi-stihl.co.jp>
TEL: 055-226-3656 info@yamanashi-stihl.co.jp



株式会社
山梨環境サービス

公益社団法人 日本下水道管路管理業協会会員

〒405-0069 山梨県笛吹市一宮町東新居 1065-1
TEL/0553-47-3305 FAX/0553-47-3306
E-mail yamakan@yks-eco.co.jp
URL <http://yks-eco.co.jp/>



LANDSCAPE
YAMANASHI

10

日本造園建設業協会 山梨県支部の活動



地域リーダーズ勉強会

令和元年9月24日、北杜市ハーベストテラスハケ岳にて(一社)日本造園建設業協会関東総支部主催「地域リーダーズ第2回勉強会」を開催。1都7県から明日の造園業界を担う地域リーダーズが28名集まりました。勉強会では「造園業からの農業参入とその可能性について」「長期的里山整備の取り組みについて」「造園業界と県内大学の連携～やまなし未来プロジェクト」の3つの事例報告、フラワートライアルジャパン展示場の見学、大塚農園でイチゴ栽培ハウスの見学や野菜の収穫体験を行い、各県から様々な意見や感想が飛び出しました。



大塚農園イチゴハウス



勉強会



展示場

収穫風景



LANDSCAPE
YAMANASHI

11

表彰

(一社) 日本造園建設業協会 会長賞 (業績表彰)



(株) 雲松園
代表取締役
大塚 広夫氏

当協会理事である大塚広夫氏は令和元年6月21日、東京都千代田区ホテルグランドアーク半蔵門において開催された日本造園建設業協会総会において、氏の長年の業績が評価され、会長賞を受賞した。

山梨県環境緑化功労賞



(株) 津々美造園
代表取締役
堤 明伸氏

当協会理事・事業委員長である堤明伸氏は令和元年10月19日小瀬スポーツ公園で開催された山梨県林業まつり記念式典において環境緑化推進の功績が高く評価され、長崎幸太郎山梨県知事より表彰された。

建設雇用改善優良事業所 山梨県知事表彰



(株) 富士グリーンテック
代表取締役
森 明彦氏

(株) 富士グリーンテック(代表取締役 森明彦氏)は令和元年11月27日アピオ甲府で開催された令和元年度建設雇用改善推進大会において、優良事業所として長崎幸太郎山梨県知事から表彰された。

建設雇用改善優良事業所 建設産業団体連合会会長表彰



(株) 明桃園
代表取締役
角野 勝氏

(株) 明桃園(代表取締役 角野勝氏)は令和元年11月27日アピオ甲府で開催された令和元年度建設雇用改善推進大会において、優良事業所として浅野建設産業団体連合会会長から表彰された。

一般のお客様にも建機レンタル及び販売を致しております!

<http://www.kouyo.jp/>

街のどこかに KKL

AKT/O グループ

甲陽建機リース株式会社

本社 ●〒400-0815 山梨県甲府市国玉町 797 TEL055-237-7801
リース事業部 ●〒400-0815 山梨県甲府市国玉町 797 TEL055-237-7821
韭崎ハウス工業 ●〒407-0033 山梨県韭崎町下条南割591 TEL0551-21-2302
営業所 ●甲府・塩山・韭崎・身延・吉田・大月・竜王・甲西センター

日立建機特約店 (販売・サービス・製造)
国際貢献事業 (地雷除去機など)

株式会社 日建

山梨県南アルプス市上今諏訪564番地の1

TEL 055-282-3211 FAX 055-282-3269

<http://www.nikkenmfg.com/>

会 社 名	代 表 者 名	住 所	電話番号 / FAX	E - mail / URL
(株) アセラ技建	久保田茂樹	甲府市蓬沢町 1171	055-233-4617 055-233-4633	giken@acera-jp.com
(株) 石和植木	齊藤 正隆	笛吹市石和町川中島 378	055-263-2070 055-262-4889	isawa@mbd.nifty.com
(株) 石原グリーン建設	石原 政人	甲府市高室町 269	055-241-2001 055-241-0822	office@green21.co.jp http://www.green21.co.jp
(株) 雲松園	大塚 広夫	北杜市小淵沢町 3630	0551-36-2432 0551-36-4128	info@unshouen.co.jp http://www.unshouen.co.jp
(有) 萩野造園	萩野 あさ子	甲府市伊勢四丁目 1-12	055-235-4045 055-231-2020	ogino@peach.ocn.ne.jp http://www.oginozouen.com
(株) 帯金造園	帯金 岩夫	甲府市池田二丁目 11-12	055-251-4128 055-251-4194	office@obikane.co.jp http://www.obikane.co.jp
(株) 河口湖庭園	梶原 陽一	南都留郡富士河口湖町船津 4940-1	0555-72-0635 0555-72-5435	yozan@kawaguchiko.ne.jp
(有) 窪田造園	窪田 司	甲斐市中下条 1673	055-277-2111 055-277-8881	kubotazouen@za.wakwak.com
甲南緑化 (株)	岩田 めぐみ	甲府市高室町 721	055-241-6136 055-241-6135	kounan@maple.ocn.ne.jp
河野造園土木 (株)	河野 嘉孝	甲府市下飯田二丁目 5-27	055-222-4396 055-222-0555	info@kzd.co.jp http://kzd.co.jp
(株) 三枝造園	三枝 正雄	富士吉田市松山 1267-6	0555-22-1174 0555-22-2219	yamau.s-zouen@tbz.t-com.ne.jp
(有) 坂本造園	坂本 篤彦	韮崎市若宮二丁目 9-39	0551-22-0301 0551-22-0322	sakamotozouen@bg.wakwak.com https://sakamoto-zouen.com
三協造園 (株)	八木 幸彦	西八代郡市川三郷町市川大門 4796	055-272-6000 055-272-7777	sankyouzouen@beetle.ocn.ne.jp
(有) サンリツ造園土木	富岡 信也	甲府市善光寺町 3135	055-268-3110 055-268-3118	sanritsu-2006@topaz.plala.or.jp
(有) 敷島緑化土木	石水 秀樹	甲斐市島上条 1664	055-277-2530 055-277-8311	sryokkas@cronos.ocn.ne.jp http://www.shikishimaryokka.jp/
(株) 芝保	藤原 辰男	甲府市貢川本町 18-20	055-237-7000 055-224-5555	shib0377@peach.ocn.ne.jp http://shibaho.jp
(有) 清水造園	清水 文一	甲府市里吉一丁目 7-21	055-233-9748 055-233-9758	shimizu.z@sea.plala.or.jp
(有) 志村樹苗園	志村 好啓	甲府市緑が丘一丁目 4-4	055-253-6983 055-253-6985	shimura.sdv4@rouge.plala.or.jp
(有) 須田造園	須田 良英	笛吹市八代町米倉 729	055-265-2452 055-265-3691	suda@arion.ocn.ne.jp http://www.land-s.co.jp
中央造園土木 (株)	今村 尚人	甲府市徳行一丁目 9-27	055-226-4525 055-226-4573	info@chuouzouen.co.jp http://chuouzouen.co.jp
辻緑化土木 (株)	辻 宏幸	甲府市朝気三丁目 3-16	055-233-9545 055-233-9542	info@tsuji28.net http://www.tsuji28.net
(株) 津々美造園	堤 明伸	甲府市愛宕町 146	055-253-2188 055-253-7835	tsutsumi@mx10.ttcn.ne.jp http://www.tsu2mi.com
(有) 東香園	名取 満	南アルプス市十日市場 1828-1	055-282-0970 055-282-0952	tou-kou@eps4.comlink.ne.jp https://tou-kou.jimdo.com/
(株) 仲村造園	仲村 清輝	北杜市明野町小笠原 3838	0551-25-2348 0551-25-2439	naka-lal@aurora.ocn.ne.jp
野尻造園建設 (有)	野尻 広光	韮崎市穂坂町宮久保 5122-2	0551-22-0615 0551-22-2531	h-nojiri@amber.plala.or.jp
富士観光開発 (株)	志村 和也	南都留郡鳴沢村字富士山 8545-2	0555-86-3311 0555-86-2440	kensetsu@fujikanko.co.jp http://www.fuji-net.co.jp/
富士急建設 (株)	飯島 慶一	富士吉田市新西原五丁目 2-1	0555-22-7151 0555-22-7153	fken@fujiky-kensetsu.co.jp http://www.fujiky-kensetsu.co.jp
(株) 富士グリーンテック	森 明彦	甲府市富竹三丁目 1-3	055-236-1600 055-224-5520	honsya-soumu@fujigreentech.jp http://www.fujigreentech.jp/
(有) 美園造園土木	武藤 洋一	甲斐市玉川 1447-4	055-276-9241 055-279-8671	misono610@s2.dion.ne.jp http://www.yamanashi-machitsukuri.jp/mizonozouen/
(株) 明桃園	角野 勝	南アルプス市桃園 968	055-282-4128 055-282-4190	meitoen@khaki.plala.or.jp
山梨ガーデン (株)	依田 忠	南巨摩郡富士川町最勝寺 1514	0556-22-4181 0556-22-2359	y.garden@cronos.ocn.ne.jp http://yamanashigarden.co.jp
(有) 山宮造園	山宮 一哲	甲府市大里町 3608	055-241-2256 055-241-2078	yamamiya@kvj.biglobe.ne.jp
(有) 吉井造園	吉井 公人	甲斐市西八幡 4044-6	055-276-0470 055-230-6322	yoshii-zouen@ag.wakwak.com